



ログファイルリファレンス StorageGRID software

NetApp
December 03, 2025

目次

ログファイルリファレンス	1
ログファイルリファレンス	1
ログにアクセスする	1
ログをSyslogサーバーにエクスポートする	1
ログファイルのカテゴリ	2
StorageGRIDソフトウェアログ	4
一般的なStorageGRIDログ	4
暗号関連のログ	5
グリッドフェデレーションログ	5
NMSログ	5
サーバーマネージャーのログ	6
StorageGRIDサービスログ	7
展開およびメンテナンスのログ	10
bycast.logについて	11
bycast.log のファイルローテーション	11
bycast.log 内のメッセージ	12
bycast.log のメッセージの重大度	12
エラーコード bycast.log	13

ログファイルリファレンス

ログファイルリファレンス

StorageGRID は、イベント、診断メッセージ、およびエラー状態をキャプチャするために使用されるログを提供します。トラブルシューティングを支援するために、ログ ファイルを収集してテクニカル サポートに転送するように求められる場合があります。

ログは次のように分類されます。

- ["StorageGRIDソフトウェアログ"](#)
- ["展開およびメンテナンスのログ"](#)
- ["bycast.logについて"](#)



各ログ タイプに提供される詳細は参考用です。ログは、テクニカル サポートによる高度なトラブルシューティングを目的としています。監査ログとアプリケーション ログ ファイルを使用して問題の履歴を再構築する高度な手法については、この手順では説明しません。

ログにアクセスする

ログにアクセスするには、["ログファイルとシステムデータを収集する"](#) 1 つ以上のノードから単一のログ ファイル アーカイブとして保存します。または、プライマリ管理ノードが使用できない場合、または特定のノードにアクセスできない場合は、次のようにして各グリッド ノードの個別のログ ファイルにアクセスできます。

1. 次のコマンドを入力します。 `ssh admin@grid_node_IP`
2. 記載されているパスワードを入力してください `Passwords.txt` ファイル。
3. ルートに切り替えるには、次のコマンドを入力します。 `su -`
4. 記載されているパスワードを入力してください `Passwords.txt` ファイル。

ログを Syslog サーバーにエクスポートする

ログを Syslog サーバーにエクスポートすると、次の機能が得られます。

- S3 および Swift リクエストに加えて、すべての Grid Manager および Tenant Manager リクエストのリストを受け取ります。
- 監査ログ方法によるパフォーマンスへの影響なしに、エラーを返す S3 リクエストの可視性が向上します。
- 解析しやすい HTTP 層のリクエストとエラー コードにアクセスします。
- ロードバランサーのトラフィック分類器によってブロックされたリクエストの可視性が向上します。

ログをエクスポートするには、["監査メッセージとログの保存先を構成する"](#)。

ログファイルのカテゴリ

StorageGRIDログ ファイル アーカイブには、各カテゴリについて説明されているログと、メトリックおよびデバッグ コマンド出力を含む追加ファイルが含まれています。

Archive location	説明
audit (監査)	通常のシステム操作中に生成される監査メッセージ。
ベースOSログ	StorageGRIDイメージのバージョンを含む基本オペレーティング システム情報。
バンドル	グローバル構成情報 (バンドル)。
カサンドラ	Cassandra データベース情報と Reaper 修復ログ。
ec	現在のノードに関する VCS 情報とプロファイル ID による EC グループ情報。
グリッド	デバッグを含む一般的なグリッドログ(<code>bycast.log</code>) そして <code>'servermanager'</code> ログ。
グリッド.json	すべてのノード間で共有されるグリッド構成ファイル。さらに、 <code>'node.json'</code> 現在のノードに固有です。
hagroups	高可用性グループのメトリックとログ。
インストール	<code>'Gdu-server'</code> ログをインストールします。
ラムダ仲裁人	S3 Select プロキシリクエストに関連するログ。
木こり.log	ログ収集に関連するデバッグ メッセージ。
メトリクス	Grafana、Jaeger、ノード エクスポーター、および Prometheus のサービス ログ。
その他	さまざまなアクセスとエラー ログ。
mysql	mariaDB データベース構成と関連ログ。
ネット	ネットワーク関連のスクリプトと Dynip サービスによって生成されたログ。
nginx	ロード バランサおよびグリッド フェデレーションの構成ファイルとログ。Grid Manager および Tenant Manager のトラフィック ログも含まれます。

Archive location	説明
nginx-gw	<ul style="list-style-type: none"> • access.log: グリッド マネージャーとテナント マネージャーはログ メッセージを要求します。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ これらのメッセージには、 <code>mgmt: syslog</code> を使用してエクスポートされた場合。 ◦ これらのログメッセージの形式は <code>[\$time_iso8601] \$remote_addr \$status \$bytes_sent \$request_length \$request_time "\$endpointId" "\$request" "\$http_host" "\$http_user_agent" "\$http_referer"</code> • cgr-access.log.gz: 受信クロスグリッドレプリケーション要求。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ これらのメッセージには、 <code>cgr: syslog</code> を使用してエクスポートされた場合。 ◦ これらのログメッセージの形式は <code>[\$time_iso8601] \$remote_addr \$status \$bytes_sent \$request_length \$request_time "\$endpointId" "\$upstream_addr" "\$request" "\$http_host"</code> • endpoint-access.log.gz: ロードバランサーエンドポイントへの S3 および Swift リクエスト。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ これらのメッセージには、 <code>endpoint: syslog</code> を使用してエクスポートされた場合。 ◦ これらのログメッセージの形式は <code>[\$time_iso8601] \$remote_addr \$status \$bytes_sent \$request_length \$request_time "\$endpointId" "\$upstream_addr" "\$request" "\$http_host"</code> • nginx-gw-dns-check.log: 新しい DNS チェック アラートに関連しません。
NTP	NTP 構成ファイルとログ。
孤立したオブジェクト	孤立したオブジェクトに関するログ。
os	ノードとグリッドの状態ファイル（サービスを含む） <code>pid</code> 。
その他	ログファイル <code>/var/local/log</code> 他のフォルダーに収集されないもの。
パフォーマンス	CPU、ネットワーク、ディスク I/O のパフォーマンス情報。
プロメテウスデータ	ログ収集に Prometheus データが含まれている場合の現在の Prometheus メトリック。
provisioning（プロビジョニング）	グリッド プロビジョニング プロセスに関連するログ。
ラフト	プラットフォーム サービスで使用される Raft クラスターからのログ。

Archive location	説明
ssh	SSH 構成とサービスに関連するログ。
snmp	SNMP 通知の送信に使用される SNMP エージェント構成。
ソケットデータ	ネットワークデバッグ用のソケット データ。
システムコマンド.txt	StorageGRIDコンテナ コマンドの出力。ネットワークやディスク使用量などのシステム情報が含まれます。
同期リカバリパッケージ	ADC サービスをホストするすべての管理ノードとストレージ ノード全体で最新のリカバリ パッケージの一貫性を維持することに関連します。

StorageGRIDソフトウェアログ

StorageGRIDログを使用して問題をトラブルシューティングできます。



ログを外部のSyslogサーバーに送信したり、監査情報の送信先を変更したりする場合は、`broadcast.log`、そして `nms.log`、見る["監査メッセージとログの保存先を構成する"](#)。

一般的なStorageGRIDログ

ファイル名	注記	見つかった場所
<code>/var/local/log/broadcast.log</code>	主要なStorageGRIDトラブルシューティング ファイル。サポート > ツール > グリッド トポロジ を選択します。次に、 Site > Node > SSM > *イベント*を選択します。	すべてのノード
<code>/var/local/log/broadcast-err.log</code>	のサブセットが含まれています <code>broadcast.log</code> (重大度が ERROR および CRITICAL のメッセージ)。CRITICAL メッセージもシステムに表示されます。サポート > ツール > グリッド トポロジ を選択します。次に、 Site > Node > SSM > *イベント*を選択します。	すべてのノード

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/core/	<p>プログラムが異常終了した場合に作成されるコア ダンプ ファイルが含まれます。考えられる原因としては、アサーションの失敗、違反、スレッドのタイムアウトなどがあります。</p> <p>注: ファイル `/var/local/core/kexec_cmd` 通常はアプリケーション ノードに存在し、エラーを示すものではありません。</p>	すべてのノード

暗号関連のログ

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/ssh-config-generation.log	SSH 構成の生成と SSH サービスの再読み込みに関連するログが含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/nginx/config-generation.log	nginx 構成の生成と nginx サービスの再読み込みに関連するログが含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/nginx-gw/config-generation.log	nginx-gw 構成の生成 (および nginx-gw サービスの再読み込み) に関連するログが含まれます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/update-cipher-configurations.log	TLS および SSH ポリシーの構成に関連するログが含まれます。	すべてのノード

グリッドフェデレーションログ

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/update_grid_federation_config.log	グリッド フェデレーション接続用の nginx および nginx-gw 構成の生成に関連するログが含まれます。	すべてのノード

NMSログ

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/nms.log	<ul style="list-style-type: none"> グリッド マネージャーとテナント マネージャーからの通知をキャプチャします。 NMS サービスの操作に関連するイベントをキャプチャします。たとえば、電子メール通知や構成の変更などです。 システムで行われた構成の変更の結果として生じた XML バンドルの更新が含まれます。 1日に1回実行される属性のダウンサンプリングに関連するエラーメッセージが含まれます。 ページ生成エラーや HTTP ステータス 500 エラーなどの Java Web サーバー エラーメッセージが含まれます。 	管理ノード
/var/local/log/nms.errlog	<p>MySQL データベースのアップグレードに関連するエラーメッセージが含まれています。</p> <p>対応するサービスの標準エラー (stderr) ストリームが含まれます。サービスごとに1つのログファイルがあります。サービスに問題がない限り、これらのファイルは通常空です。</p>	管理ノード
/var/local/log/nms.requestlog	管理 API から内部StorageGRIDサービスへの送信接続に関する情報が含まれます。	管理ノード

サーバーマネージャーのログ

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/servermanager.log	サーバー上で実行されている Server Manager アプリケーションのログファイル。	すべてのノード
/var/local/log/GridstatBackend.errlog	Server Manager GUI バックエンド アプリケーションのログファイル。	すべてのノード
/var/local/log/gridstat.errlog	サーバーマネージャー GUI のログファイル。	すべてのノード

StorageGRID サービスログ

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/acct.errlog		ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/adc.errlog	対応するサービスの標準エラー (stderr) ストリームが含まれます。サービスごとに1つのログ ファイルがあります。サービスに問題がない限り、これらのファイルは通常空です。	ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/ams.errlog		管理ノード
/var/local/log/cassandra/system.log	新しいストレージ ノードを追加するときに問題が発生した場合、または nodetool repair タスクが停止した場合に使用できるメタデータ ストア (Cassandra データベース) の情報。	ストレージ ノード
/var/local/log/cassandra-reaper.log	Cassandra データベース内のデータの修復を実行する Cassandra Reaper サービスの情報。	ストレージ ノード
/var/local/log/cassandra-reaper.errlog	Cassandra Reaper サービスのエラー情報。	ストレージ ノード
/var/local/log/chunk.errlog		ストレージ ノード
/var/local/log/cmn.errlog		管理ノード
/var/local/log/cms.errlog	このログ ファイルは、StorageGRIDの古いバージョンからアップグレードされたシステムに存在する可能性があります。レガシー情報が含まれています。	ストレージ ノード
/var/local/log/dds.errlog		ストレージ ノード
/var/local/log/dmv.errlog		ストレージ ノード
/var/local/log/dynip*	グリッドの動的 IP 変更を監視し、ローカル構成を更新する dynip サービスに関連するログが含まれます。	すべてのノード

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/grafana.log	グリッド マネージャーでのメトリックの視覚化に使用される、Grafana サービスに関連付けられたログ。	管理ノード
/var/local/log/hagroups.log	高可用性グループに関連付けられたログ。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/hagroups_events.log	BACKUP から MASTER または FAULT への移行などの状態の変化を追跡します。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/idnt.errlog		ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/jaeger.log	トレース収集に使用される、Jaeger サービスに関連付けられたログ。	すべてのノード
/var/local/log/kstn.errlog		ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/lambda*	S3 Select サービスのログが含まれません。	管理ノードとゲートウェイノード このログは特定の管理ノードとゲートウェイノードにのみ含まれます。参照" S3 Select の管理ノードとゲートウェイノードの要件と制限 "。
/var/local/log/ldr.errlog		ストレージ ノード
/var/local/log/miscd/*.log	他のノード上のサービスのクエリと管理、および他のノードで実行されているサービスの状態のクエリなど、ノード上の環境構成の管理のためのインターフェイスを提供する MISCd サービス (Information Service Control Daemon) のログが含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/nginx/*.log	nginx サービスのログが含まれます。nginx サービスは、さまざまなグリッド サービス (Prometheus や Dynip など) が HTTPS API を介して他のノード上のサービスと通信できるようにするための認証および安全な通信メカニズムとして機能します。	すべてのノード

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/nginx-gw/*.log	エラー ログや管理ノード上の制限された管理ポートのログなど、nginx-gw サービスに関連する一般的なログが含まれます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/nginx-gw/cgr-access.log.gz	クロスグリッド レプリケーション トラフィックに関連するアクセス ログが含まれます。	グリッド フェデレーション構成に基づいて、管理ノード、ゲートウェイノード、またはその両方。クロスグリッド レプリケーションの宛先グリッドにのみ存在します。
/var/local/log/nginx-gw/エンドポイントアクセス.log.gz	クライアントからストレージ ノードへの S3 トラフィックの負荷分散を提供するロード バランサ サービスのアクセスログが含まれます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/persistence*	再起動後も保持する必要があるルート ディスク上のファイルを管理する Persistence サービスのログが含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/プロメテウス.log	すべてのノードについて、ノード エクスポート サービス ログと ade-exporter メトリック サービス ログが含まれます。 管理ノードの場合、Prometheus および Alert Manager サービスのログも含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/raft.log	Raft プロトコルの RSM サービスで使用されるライブラリの出力が含まれます。	RSM サービスを備えたストレージノード
/var/local/log/rms.errlog	S3 プラットフォーム サービスに使用される Replicated State Machine Service (RSM) サービスのログが含まれます。	RSM サービスを備えたストレージノード
/var/local/log/ssm.errlog		すべてのノード
/var/local/log/update-s3vs-domains.log	S3 仮想ホスト ドメイン名設定の更新処理に関連するログが含まれます。S3 クライアント アプリケーションの実装手順を参照してください。	管理ノードとゲートウェイノード

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/update-snmp-firewall.*	SNMP 用に管理されているファイアウォール ポートに関連するログが含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/update-syslog.log	システムの syslog 構成に加えられた変更に関連するログが含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/update-traffic-classes.log	トラフィック分類子の構成の変更に関連するログが含まれます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/update-utcn.log	このノード上の信頼されていないクライアント ネットワーク モードに関連するログが含まれます。	すべてのノード

関連情報

- ["bycast.log"について](#)
- ["S3 REST APIを使用する"](#)

展開およびメンテナンスのログ

デプロイメント ログとメンテナンス ログを使用して、問題をトラブルシューティングできます。

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/インストール.log	ソフトウェアのインストール中に作成されます。インストールイベントの記録が含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/拡張進行状況.log	拡張操作中に作成されました。拡張イベントの記録が含まれています。	ストレージ ノード
/var/local/log/pa-move.log	実行中に作成された `pa-move.sh` スクリプト。	プライマリ管理ノード
/var/local/log/pa-move-new_pa.log	実行中に作成された `pa-move.sh` スクリプト。	プライマリ管理ノード
/var/local/log/pa-move-old_pa.log	実行中に作成された `pa-move.sh` スクリプト。	プライマリ管理ノード
/var/local/log/gdu-server.log	GDU サービスによって作成されました。プライマリ管理ノードによって管理されるプロビジョニングおよびメンテナンス手順に関連するイベントが含まれます。	プライマリ管理ノード

ファイル名	注記	見つかった場所
/var/local/log/send_admin_hw.log	インストール中に作成されます。ノードとプライマリ管理ノードとの通信に関連するデバッグ情報が含まれます。	すべてのノード
/var/local/log/アップグレード.log	ソフトウェアのアップグレード中に作成されました。ソフトウェア更新イベントの記録が含まれます。	すべてのノード

bycast.logについて

ファイル `/var/local/log/bycast.log` StorageGRIDソフトウェアの主なトラブルシューティングファイルです。そこには `bycast.log` グリッド ノードごとにファイルを作成します。ファイルには、そのグリッド ノードに固有のメッセージが含まれています。

ファイル `/var/local/log/bycast-err.log` のサブセットです `bycast.log`。重大度が ERROR および CRITICAL のメッセージが含まれます。

必要に応じて、監査ログの送信先を変更し、監査情報を外部の syslog サーバーに送信することもできます。外部 Syslog サーバーが構成されている場合、監査レコードのローカル ログは引き続き生成され、保存されます。見る["監査メッセージとログの保存先を構成する"](#)。

bycast.log のファイルローテーション

いつ `bycast.log` ファイルが 1 GB に達すると、既存のファイルが保存され、新しいログ ファイルが開始されます。

保存したファイルの名前が変更されます `bycast.log.1`、新しいファイルの名前は `bycast.log`。新しい `bycast.log` 1GBに達すると、`bycast.log.1` 名前が変更され、圧縮されて `bycast.log.2.gz`、そして `bycast.log` 名前が変更されました `bycast.log.1`。

回転限界 `bycast.log` 21 ファイルです。22番目のバージョンでは、`bycast.log` ファイルが作成されると、最も古いファイルが削除されます。

回転限界 `bycast-err.log` ファイルは7つです。



ログ ファイルが圧縮されている場合は、書き込まれた場所と同じ場所に解凍しないでください。ファイルを同じ場所に解凍すると、ログローテーション スクリプトの動作が妨げられる可能性があります。

必要に応じて、監査ログの送信先を変更し、監査情報を外部の syslog サーバーに送信することもできます。外部 Syslog サーバーが構成されている場合、監査レコードのローカル ログは引き続き生成され、保存されます。見る["監査メッセージとログの保存先を構成する"](#)。

関連情報

["ログファイルとシステムデータを収集する"](#)

bycast.log 内のメッセージ

メッセージ `bycast.log` ADE (非同期分散環境) によって記述されます。ADE は、各グリッド ノードのサービスによって使用されるランタイム環境です。

ADE メッセージの例:

```
May 15 14:07:11 um-sec-rg1-agn3 ADE: |12455685      0357819531
SVMR EVHR 2019-05-05T27T17:10:29.784677| ERROR 0906 SVMR: Health
check on volume 3 has failed with reason 'TOUT'
```

ADE メッセージには次の情報が含まれます。

メッセージセグメント	例の値
ノードID	12455685
ADEプロセスID	0357819531
モジュール名	SVMR
メッセージ識別子	EVHR
UTCシステム時間	2019-05-05T27T17:10:29.784677 (YYYY-MM-DDTHH:MM:SS.ffffff)
重大度レベル	ERROR
内部追跡番号	0906
メッセージ	SVMR: ボリューム 3 のヘルス チェックが理由 'TOUT' で失敗しました

bycast.log のメッセージの重大度

メッセージは `bycast.log` 重大度レベルが割り当てられます。

例えば：

- 通知 — 記録する必要があるイベントが発生しました。ほとんどのログ メッセージはこのレベルにあります。
- 警告 — 予期しない状態が発生しました。
- エラー — 操作に影響する重大なエラーが発生しました。
- **CRITICAL** — 異常な状態が発生し、通常の操作が停止しました。根本的な症状にすぐに対処する必要があります。

エラーコード bycast.log

ほとんどのエラーメッセージは `bycast.log` エラーコードが含まれています。

次の表は、`bycast.log` 数値以外のコードの正確な意味は、それが報告されるコンテキストによって異なります。

エラー コード	説明
サックス	エラーなし
ゲール	不明
CANC	キャンセル
ABRT	中止
すべて	Timeout
非VL	無効
NFND	Not found
ヴァース	version
会議	構成
失敗	失敗
ICPL	不完全
終わり	完了
SUNV	サービスは利用できません

次の表は、 bycast.log。

エラー番号	エラー コード	説明
001	エベルム	Operation not permitted
002	エノエント	そのようなファイル、又はディレクトリはありません
003	エスルチ	そのようなプロセスはありません

エラー番号	エラーコード	説明
004	EINTR	中断されたシステムコール
005	EIO	I/O error
006	エンクシオ	そのようなデバイスまたはアドレスはありません
007	E2ビッグ	引数リストが長すぎます
008	エノエグゼック	実行形式エラー
009	EBADF	ファイル番号が間違っています
010	エチャイルド	子プロセスなし
011	再び	再試行
012	エノメモ	メモリ不足です
013	アクセス	許可が拒否されました
014	エフォルト	住所が間違っています
015	ENOTBLK	ブロックデバイスが必要です
016	忙しい	デバイスまたはリソースがビジー状態です
017	存在する	ファイルが存在します
018	エクスデブ	クロスデバイスリンク
019	エノデフ	そのようなデバイスははありません
020	エノティディル	ディレクトリではありません
021	エイスディール	ディレクトリです
022	アインヴァル	無効な引数
023	エンファイル	ファイルテーブルのオーバーフロー
024	EMFILE	開いているファイルが多すぎます

エラー番号	エラーコード	説明
025	エノッティ	タイプライターではない
026	ETXTBSY	テキストファイルがビジー状態です
027	EFBIG	ファイルが大きすぎます
028	ENOSPC	No space left on device
029	エスピア	不正なシーク
030	エロフス	読み取り専用ファイルシステム
031	EMLINK	リンクが多すぎる
032	エパイプ	壊れたパイプ
033	エドム	関数のドメイン外の数学引数
034	エレンジ	数学の結果は表現できません
035	エディアドルク	リソースのデッドロックが発生する
036	エナメトゥーロン	ファイル名が長すぎます
037	エノルク	レコードロックは使用できません
038	エノシス	関数は実装されていません
039	空虚	ディレクトリが空ではありません
040	ELOOP	検出されたシンボリックリンクが多すぎます
041		
042	ENOMSG	希望するタイプのメッセージがありません
043	EIDRM	識別子が削除されました
044	エクロン	チャンネル番号が範囲外です
045	EL2NSYNC	レベル2が同期されていません

エラー番号	エラーコード	説明
046	EL3HLT	レベル3停止
047	EL3RST	レベル3のリセット
048	エルシング	リンク番号が範囲外です
049	ユーナッチ	プロトコル ドライバーが接続されていません
050	エノシ	CSI構造は利用できません
051	EL2HLT	レベル2停止
052	エバデ	無効な交換
053	エバドル	無効なリクエスト記述子
054	エクスフル	交換完了
055	エノアノ	陽極なし
056	EBADRQC	無効なリクエストコード
057	エバズルト	無効なスロット
058		
059	EBFONT	フォントファイル形式が正しくありません
060	エノスター	デバイスはストリームではありません
061	エノデータ	使用できるデータがありません
062	ETIME	タイマー期限切れ
063	エノス	ストリーム外のリソース
064	エノネット	マシンがネットワークに接続されていません
065	有効	パッケージがインストールされていません
066	エレリモート	オブジェクトはリモートです

エラー番号	エラーコード	説明
067	エノリンク	リンクが切断されました
068	EADV	広告エラー
069	ESRMNT	Srmount エラー
070	エココム	送信時に通信エラーが発生しました
071	エプロト	プロトコルエラー
072	エマルティホップ	マルチホップを試行しました
073	エドトドット	RFS固有のエラー
074	EBADMSG	データメッセージではありません
075	オーバーフロー	定義されたデータ型に対して値が大きすぎます
076	エノトニク	名前がネットワーク上で一意ではありません
077	EBADFD	ファイル記述子の状態が不良です
078	エレムチグ	リモートアドレスが変更されました
079	エリバック	必要な共有ライブラリにアクセスできません
080	エリバッド	破損した共有ライブラリへのアクセス
081	エリブスン	
082	エリブマックス	共有ライブラリをリンクしようとしすぎています
083	エリビエグゼック	共有ライブラリを直接実行できない
084	アイルセク	不正なバイトシーケンス
085	エレストार्ट	中断されたシステムコールは再開する必要がある
086	エストパイプ	ストリームパイプエラー
087	EUSERS	ユーザーが多すぎる

エラー番号	エラーコード	説明
088	エノットソック	非ソケットに対するソケット操作
089	エデスタアドレス要求	宛先住所が必要です
090	EMSGサイズ	メッセージが長すぎます
091	プロトタイプ	ソケットのプロトコルタイプが間違っています
092	エノプロトオプト	プロトコルは利用できません
093	エプロトノサポート	プロトコルはサポートされていません
094	ESOCKTNOSUPPORT	ソケットタイプはサポートされていません
095	EOPNOTSUPP	トランスポートエンドポイントでは操作はサポートされていません
096	EPFNOサポート	プロトコルファミリはサポートされていません
097	EAFNOサポート	プロトコルでサポートされていないアドレスファミリ
098	EADDRINUSE	このアドレスは既に使用されています
099	EADDRNOTAVAIL	要求されたアドレスを割り当てることができません
100	エネットダウン	ネットワークがダウンしています
101	エネットウンリーチ	ネットワークにアクセスできません
102	ENETRESET	リセットによりネットワーク接続が切断されました
103	エコノミスト	ソフトウェアによって接続が終了した
104	エコノリセット	ピアによる接続のリセット
105	エノブフス	バッファスペースがありません
106	アイスコン	トランスポートエンドポイントはすでに接続されています

エラー番号	エラーコード	説明
107	エノトコン	トランスポートエンドポイントが接続されていません
108	シャットダウン	トランスポートエンドポイントのシャットダウン後に送信できません
109	ETOOMANYREFS	参照が多すぎるため、結合できません
110	タイムアウト	接続がタイムアウトしました
111	サービス拒否	接続が拒否されました
112	EHOSTDOWN	ホストがダウンしています
113	EHOSTUNREACH	ホストへのルートがありません
114	すでに	操作はすでに進行中です
115	アインプログレス	操作は現在進行中です
116		
117	ユークリーン	構造物の清掃が必要
118	エノトナム	XENIXの名前付きタイプファイルではありません
119	エナベイル	XENIXセマフォは使用できません
120	アイスナム	名前付きタイプファイルです
121	エレリモート	リモートI/Oエラー
122	エドクォート	割り当て超過
123	エノメディウム	媒体が見つかりません
124	ミディアムタイプ	間違ったメディアタイプ
125	キャンセル	処理がキャンセルされました
126	エノキー	必要なキーが利用できません

エラー番号	エラーコード	説明
127	EKEY期限切れ	キーの有効期限が切れました
128	EKEYが取り消されました	キーは取り消されました
129	EKEY拒否	キーはサービスによって拒否されました
130	所有者死亡	堅牢なミュートックスの場合: 所有者が死亡
131	回復不能	堅牢なミュートックスの場合: 状態は回復不可能

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。